

出張報告届

令和2年 2月 6日

吹田市議会議長様

会派名 自由民主党絆の会

出張者氏名 白石 透



印

印

印

印

印

印

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 (大阪市淀川区)		
期間	令和2年2月5日から令和2年2月5日まで		
出張の成果	別紙のとおり		
備考	議員・職員のための 令和2年度政府予算案の解説と 予算審議のポイント in 大阪 1. 令和2年度予算案の解説 2. 平成30年度地方財政決算(速報)の解説 3. 予算審議の論点 4. 予算審議のツボ	認 印	会派代表者



(株) 地方議会総合研究所 報告書

令和2年度政府予算案の解説と予算審議のポイント IN 大阪

日程：2020年2月5日 (水)

場所：アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 903号室

講師：兼村 高文 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

令和2年度の地方財政対策の概要として、通常収支分として、地方団体が、人づくり革命の実現や地方創生の推進、地域社会の維持・再生、防災・減災等に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことが出来るよう、地方交付税等の一般財源総額について、令和元年度を0.7兆円上回る63.4兆円が確保された。内、地方交付税総額について前年度を0.4兆円上回る16.6兆円が確保されるとともに、臨時財政対策債は、前年度から、抑制された。総じてはほぼ、前年並みをキープしたようだ。ポイントとしては、まち・ひと・しごと創生事業費の確保では令和2年度においても、引き続き1兆円を確保、社会保障・税一体改革による社会保障の充実分及び人づくり革命に係る経費について所要額が計上された。また、令和元年台風19号による河川氾濫等の大規模な浸水被害等が相次ぐ中、被災後の復旧費用を考慮しても、維持管理のための河川等の浚渫が重要なことから、令和2～6年

度の5年間で、4900億円、令和2年度では900億円の事業費が計上された。また、公共施設の老朽化を踏まえた適正管理が求められる中で、小規模市町村を中心に技術職員の不足、大規模災害時において、技術職員の中長期派遣、などに地方財政措置が講じられた。

今回のセミナーを受け、地方自治体の立場から申せば、依然として巨額の財源不足は解消されていないことから、特例措置に依存しない持続可能な制度の確立を目指していくべきと、考える。

防災・減災、幼児教育・高等教育の無償化、会計年度任用職員制度、Society5.0の推進支援など、やる事は山積しており、今後も創意工夫して地方財源の確保・充実を図っていかねばならない。